

船舶事故等調査報告書

平成23年6月30日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010神第251号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成22年10月29日 07時20分ごろ	
発生場所	富山県高岡市伏木富山港新湊区 新湊東内防波堤灯台から真方位311°400m付近 (概位 北緯36°46.7′ 東経137°06.9′)	
事故等調査の経過	平成22年12月6日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 練習船 <sup>かいおう</sup> 海王丸、2,556トン 131166、財団法人海技教育財団（船舶所有者）、独立行政法人航海訓練所（船舶借入人） B 引船 らいちょう、165トン 127631、富山県	
乗組員等に関する情報	A 船長A、一級海技士（航海） 水先人A、伏木水先区1級水先人水先免状 B 船長B、三級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	A 右舷船尾外板に約1500mm×800mm、最大深さ約80mmの凹損 B 船首緩衝用タイヤ破損	
事故等の経過	A船は、船長Aほか58人が乗り組み、研修生2人及び実習生104人を乗せ、伏木富山港新湊区において、水先人Aが乗船して着岸作業中、B船は、船長Bほか5人が乗り組み、A船の着岸作業を支援中、水先人Aの指示により、B船が、右回頭して海王岸壁に着岸するA船の右舷船尾を押そうとしたところ、台風14号の影響による強風で船尾が押されるとともに、船首がうねりで持ち上げられ、平成22年10月29日07時20分ごろ、B船の船首部がA船の右舷船尾に衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 5、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の初期、有義波高 約1.6m、最高波高 約2.6m	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり B船は、伏木富山港新湊区において、A船の着岸作業を支援中、A船の右舷船尾を押そうとした際、船長Bがうねりの状況を考慮して操船を行わなかったことから、船尾が風力5の風で圧流されるとともに、船首がうねりで持ち上げられ、A船と衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、B船が、伏木富山港新湊区において、A船の着岸作業を支	

	援中、A船の右舷船尾を押そうとした際、船長Bがうねりの状況を考慮して操船を行わなかったため、船尾が風力5の風で圧流されるとともに、船首がうねりで持ち上げられ、A船と衝突したことにより発生したものと考えられる。
--	--